

【高齢者を狙う老々詐欺に注意】 高齢者の悩みにつけ込む悪質な手口



世の中の詐欺に関わる大変な詐欺師は若者だというイメージを抱きがちです。一方で、周囲に会話できる人が少ない孤独な老人は、会話できる相手を望んでいるケースも少なくありません。

もし、詐欺師が高齢で自分の話を聞いてくれる気さくなタイプであれば、つい警戒心を解いてしまいがちです。その結果、老々詐欺に騙される人が後を絶たないのです。

本教材は老々詐欺の悪質な手口の数々を事例を交えながら、ご紹介します。

もくじ

1. 老々詐欺の様々な種類(結婚詐欺、訪問販売詐欺)
2. 老々詐欺にあってしまった場合の対処法
3. まとめ | 老々詐欺を疑う目を持つことが重要

1. 老々詐欺の様々な種類(結婚詐欺、訪問販売詐欺)

結婚詐欺

パートナーに先立たれたり、近年自身の子どもと別居している高齢者は少なくありません。

そこに異性の高齢者詐欺師が現れ、親密な関係になると、結婚を意識するようになることもあるでしょう。

被害者が結婚を意識し始めた頃合いに、詐欺師は何らかの理由をつけて金銭を要求します。

被害者は「**どうせ結婚するのだから、**」とつい金銭要求を受け入れてしまうのです。

自身との年齢差も少なく、警戒心が薄れてしまう可能性があるため、注意が必要です。

訪問販売詐欺

訪問販売詐欺では、若い詐欺師と高齢の詐欺師が訪問するケースもあります。

初めに若い詐欺師が訪問販売員として訪問し、強引な勧誘を行います。

その後、若い訪問販売員の上司を名乗る高齢の詐欺師が訪問し、若い販売員の強引な営業手法を叱責し、高齢者の信頼を獲得した後に、高額な商品を販売する手法があります。

この2人が共犯であることを、被害者は知らないため、**後から訪問した上司のことを信頼してしまう**ことが少なくありません。

2. 老々詐欺にあったってしまった場合の対処法

対処法①:クーリングオフ

訪問販売や電話勧誘販売で商品を購入した場合、8日以内であれば、解約することが出来る場合があります。

クーリングオフは必ず口頭ではなく、書面で通知を行いましょ
う。詳しくは[国民生活センターHP](#)をご覧ください。

対処法②:振り込め詐欺救済法の利用

振り込め詐欺の場合は、振り込め詐欺救済法を利用することが出来ます。

振り込め詐欺に利用された口座を凍結して、その口座の残高から、被害額の全部又は一部の支払いを受けられる可能性があります。

まずは、警察への届け出や振込先の金融機関への連絡を行うことから始めましょう。

対処法③:専門家への相談

詐欺にあった場合の対処法について、国民生活センターに相談し、アドバイスをもらうこともできます。

また、弁護士に相談すれば、騙されたお金を取り戻せる可能性についても教えてもらえるでしょう。

もし取り返せる場合は、弁護士に依頼することで、あなたの代わりに返金に向けて、行動してくれます。

4.まとめ | 老々詐欺を疑う目を持つことが重要

自分と同じくらいの年齢で、話をよく聞いてくれる人だから「詐欺師ではない」と即断するのはやめましょう。

仮に自身が信頼している友人であっても、多額な金銭を要求された場合は、詐欺かもしれないという意識を持つことが大切です。

老人の孤独を感じている心境につけ込み、長い時間をかけて信頼を獲得し、被害者から多額の金銭を受け取った後、連絡がつかなくなるケースも少なくありません。

「この人とは長い付き合いだから、、、」といった気持ちで金銭の要求に応じれば、詐欺師の思うつぼです。

訪問販売詐欺のような短期で信頼を獲得し、お金を騙し取る詐欺師もいれば、結婚詐欺のような比較的長い期間をかけて、信頼を培った後に、多額の金銭要求を行う詐欺師もいます。

金銭要求があった場合は、冷静な判断を行いましょう。